



プログラミングパーク・・・本番！

1月から準備してきたプログラミングパークの本番の日を迎えました。

さあ、この右の写真、みんなでろうかの先を見つめています、なんの様子でしょうか？

実はこれ、今からやってくる1年生を待ち構えているところです。

「来た!」「違った!」「あと少しだって!」など、みんなでわくわくどきどきしながら待っていました。



↑一方の1年生のお迎えに行った人たちはこんな感じです。

2年生の本番の目標は、「1年生のみんなに楽しんでもらう」「こんな2年生になりたいと思ってもらう」「2年生になったら自分たちもやりたいと思ってもらう」でした。

真剣にがんばる顔や笑顔で楽しむ顔など、すてきな様子をたくさん見ることができました。

今回はほんの一部ですが、プログラミングパークの様子を紹介させていただきます。



【お客さんがとぎれなかった最強王紙相撲】



【おばけやしき、交代で手を出しています】



【おばけやしきは長蛇の列になりました】



【20回以上来てくれたリピーターがいたそうです】



【1年生が楽しそうに遊んでいますね】



【体をはって働くパンチングゲーム屋さん】



【客引きに接客に大忙しでした】



【ていねいに説明しているのが伝わってきますね】



【サッカー的当て、みんなでがんばっています】



【きっとあこがれのお兄さんになっていますね】

もちろんプログラミングパークは大成功に終わりました。

特に最後の振り返りで、ある2年生の子が1年生に「みんなも2年生になったら、こんなふうにして成長してほしい」と言っているのが心に残りました。

自分たちの活動や成長だけでなく、下級生に願いをもって接しているのが本当に素晴らしいと感じました。

昨年度も2年生を担当し、プログラミングパークをしたときは、遊ばせてもらってただただ「楽しい」「おもしろい」と喜んでいました。

あれから1年の日々であの子たちが、他者と協働して課題に取り組み、他者を喜ばせることに喜びを感じ、他者の成長を願えるようになったのだと実感し、感動しました。

とてもとても、うれしい日になりました。